

くらしの情報

新処理施設・新最終処分場
のお知らせ

編集・発行
一関地区広域行政組合（一関市・平泉町）

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設の整備に伴う 環境影響評価方法書の縦覧・説明会のご案内

組合が計画しているエネルギー回収型一般廃棄物処理施設の整備に伴う環境影響評価の方法書について、次のとおり縦覧し、説明会を開催します。

環境影響評価とは

- ・開発事業が環境にどのような影響を及ぼすかを、
- ・開発事業者が調査・予測・評価し、その結果を公表して、関係者の意見を聞き、
- ・意見を踏まえて環境保全の観点から、より良い事業計画を作り上げていく制度です。

岩手県では、1時間当たり4トン以上のごみを焼却処理する施設に環境影響評価の実施が義務づけられています。方法書は、環境影響評価を行う項目及び調査、予測、評価の手法についてまとめたものです。

1 環境影響評価に係る事業内容

事業の名称	エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業
事業の種類	ごみ処理施設の設置
処理能力	4.5トン/時間×24時間
事業実施区域	一関市弥栄字一ノ沢地内
事業に係る環境影響を受ける範囲と認められる地域の範囲	一関市

2 環境影響評価方法書の縦覧

縦覧期間	令和3年11月24日(水)～令和3年12月23日(木)の平日午前8時30分から午後5時15分まで
縦覧場所	一関地区広域行政組合総務管理課、一関市役所本庁生活環境課・各支所市民課

3 説明会日時及び会場

期 日	開始時間	会 場	定 員
12月10日(金)	18時30分	弥栄市民センター	約50人
12月11日(土)	14時00分	川崎市民センター	約100人

◆説明会は1時間30分程度を予定しています。

◆申し込みは不要ですが、来場者が定員を超えるときは、入場を制限する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご来場される 方へのお願い

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、次の事項についてご協力をよろしくお願いいたします。
発熱、咳、全身痛、風邪などの症状がある場合は、ご来場を自粛願います。

マスクをご持参の上、着用してご入場ください。

入口で手指消毒をしてからご入場ください。

人と触れ合わない距離を開けてお座りください。

咳やくしゃみをするときは、マスクやハンカチ、ティッシュペーパーなどで口をしっかりと覆うよう、「咳エチケット」にご協力ください。

30分に1回程度は会場の換気を行いますので、ご了承ください。

4 意見書の提出

環境保全の見地から方法書についてご意見をお持ちの方は、下記の期日までに意見書をお寄せください。

意見書には、ご住所、お名前、意見書の提出対象である方法書の名称、ご意見を明記し、下記まで郵送またはファクシミリ、電子メールにて送信いただくか、縦覧場所に備え付けの意見書箱にご投函ください。

提出期限：令和4年1月6日（木）まで（消印有効）

提出先：〒021-8501 一関市竹山町7-2 一関地区広域行政組合総務管理課宛て

FAX：0191-31-3224 E-mail：somukanri@city.ichinoseki.iwate.jp

※意見書箱での受付時間は、午前8時30分から午後5時15分まで。ただし、土、日、祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は除く。
※意見書用紙は縦覧場所に備え付けているほか、組合ホームページからもダウンロードいただけます。

説明会を開催しました

第5回住民説明会／第3回建設候補地周辺自治会説明会／第1回地区説明会

●第5回住民説明会

開催日	会 場	参加者数
6月26日(土)	川崎市民センター	10人
6月28日(月)	平泉町役場	11人
6月29日(火)	アイドーム	9人

●第1回地区説明会

(新処理施設：弥栄地区、新最終処分場：千厩地区)

開催日	会 場	参加者数
6月27日(日)	千厩市民センター	67人
6月27日(日)	弥栄市民センター	4人

●第3回建設候補地周辺自治会説明会

説明会	開催日	会 場	参加者数
新最終処分場	6月26日(土)	マリアージュ	18人
新処理施設	6月26日(土)	弥栄市民センター平沢分館	15人

1 主な説明内容

- (1) これまでの説明会の概要について
- (2) 新処理施設の焼却方式(案)について
- (3) 新処理施設の事業方式(案)について
- (4) 新最終処分場の漏水検知システムの導入(案)について
- (5) 新最終処分場の浸出水処理施設の規模の考え方(案)について
- (6) 今後の予定について
- (7) 情報提供「日本のごみ処理～世界のごみ処理との比較～」



2 主な質問や意見

質 問	回 答
新最終処分場からの放流水が、北ノ沢川や千厩川に放流されるのは不安だ。	処分場からの放流水は、環境に影響を及ぼさないように水処理を行ってから放流する。
新最終処分場にはどのようなものが埋め立てられるのか。	焼却灰や瀬戸物、ガラス等の不燃物を埋め立てる。災害廃棄物は一旦仮置きし、選別を行った後、可燃物は焼却して焼却灰として埋め立てる。
設備が故障したときや豪雨のときに、新最終処分場の浸出水が処理しきれずに調整槽からあふれることはないのか。	設備は、故障時も考慮して予備を用意する。調整池は十分な容量を備えたものとするほか、最終処分場自体が調整池と同じような機能を持っていることから、豪雨が短時間に集中して降ってもあふれることがないような施設を計画する。
焼却灰はどのように処分するのか。	焼却灰は、排ガスの中に含まれる飛灰と燃え殻となる主灰の2種類。主灰はそのまま埋め立て、飛灰は薬品処理して安定化・不溶化したものを埋め立てる。
新最終処分場の建設候補地は、市街地、住宅地、学校に近いのではないか。	最終処分場と住宅や学校などとの距離については、規制はない。焼却灰などの埋め立てや水処理など、施設の運転管理について、今後も皆様の意見をいただき、安心していただけるような計画としたい。
新処理施設ができれば交通量が増え、歩行者の危険が増すのでは。	交通対策は重要な課題として検討を行う。また、環境影響評価を行い、必要な対策は関係機関と対策を考えていきたい。

建設候補地を絞り込むまで (ダイジェスト)

これまでの説明会で、建設候補地を1か所に絞り込んだ経緯に関する質問が寄せられたことから、その概要をまとめました。

I 施設整備が必要となった背景

- 資源循環型社会形成の重要性の高まり
- 廃棄物の3R（発生抑制、再利用、再生利用）による減量化の取組
- ダイオキシンの発生抑制
- 廃棄物の焼却で発生する熱エネルギーの有効利用 など



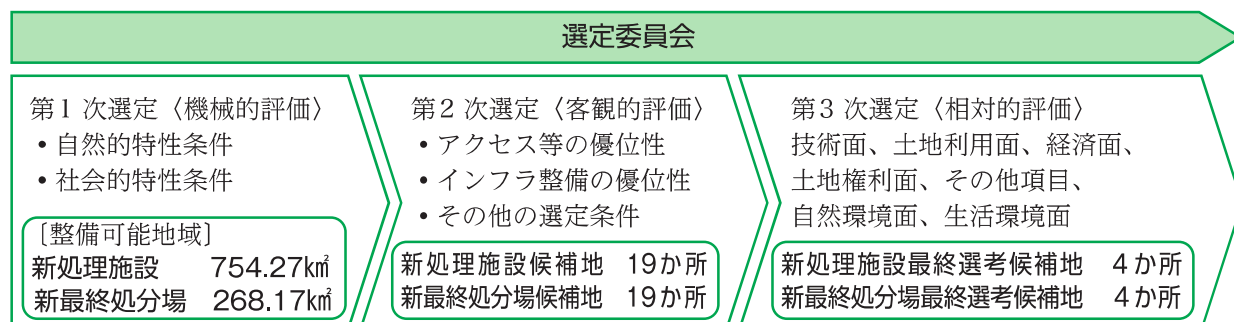
- ◇ 県は、岩手県ごみ処理広域化計画を策定（平成11年3月）
- ◇ 県南地区の市町村は、県南地区ごみ処理広域化基本構想を策定（平成25年11月）
- ◇ 組合は、廃棄物処理基本構想を策定（平成29年3月）
 - 焼却処理施設は、一関清掃センターと大東清掃センターを統合して一施設に集約
 - 最終処分場は、舞川清掃センター、花泉清掃センター及び東山清掃センターの埋立残容量を踏まえて、計画的に施設を整備

II 建設候補地選定の経緯（概要）

- ◇ 平成30年3月、一般廃棄物最終処分場（新最終処分場）の整備候補地の選定開始
平成30年9月、エネルギー回収型一般廃棄物処理施設（新処理施設）の整備候補地の選定開始
 - 整備候補地選定委員会（選定委員会）を設置（環境影響評価、動物生態学、植物生態学、地盤工学などの専門家で構成）
 - ・ 一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会（全9回開催）
 - ・ エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備候補地選定委員会（全8回開催）
- ◇ 令和元年10月、選定委員会が整備候補地を選定
 - ・ 新処理施設 4か所
 - ・ 新最終処分場 4か所
- ◇ 令和元年10月、組合は最終選考候補地を選定（上記の候補地）
- ◇ 令和元年11月、新処理施設と新最終処分場の建設候補地の絞り込みを開始
 - 一般廃棄物処理施設整備検討委員会（検討委員会）を設置（一関市、平泉町、組合で構成）
 - ・ 絞り込み方法や評価項目の検討
 - ・ 最終選考候補地の評価
- ◇ 令和2年11月、建設候補地を絞り込み
 - 新処理施設 一関市弥栄字一ノ沢ほか
 - 新最終処分場 一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか

III 選定委員会の選定作業

第1次選定、第2次選定、第3次選定の3段階で実施



1 第1次選定

自然的特性条件と社会的特性条件に該当する区域を除外し、整備可能地域を抽出

組合管内の総面積 1,319.81 平方キロメートル → 整備可能地域 新処理施設 754.27 平方キロメートル
新最終処分場 268.17 平方キロメートル

条 件		新処理施設	新最終処分場
自然的特性条件	① 自然公園地域	○	○
	② 自然環境保全地域	○	○
	③ 環境緑地保全地域	○	○
	④ 鳥獣保護区特別保護地区	○	○
	⑤ 国有林	○	○
	⑥ 保安林	○	○
	⑦ 河川区域	○	
	⑧ 河川保全区域		○
	⑨ 緑の回廊	○	○
	⑩ 砂防指定地	○	○
	⑪ 急傾斜地崩壊危険区域	○	○
	⑫ 地すべり防止区域	○	○
	⑬ 地すべり危険地区	○	○
	⑭ 山腹崩壊危険地区	○	○
	⑮ なだれ危険地区	○	○
	⑯ 崩壊土砂流出危険地区	○	○
	⑰ 土石流危険渓流	○	○
	⑱ 地すべり地形分布図	○	○
	⑲ 浸水想定区域	○	○
○印の条件に該当する全域を除外 ただし、⑭、⑮、⑯は、影響範囲を半径 100 m として除外			

条 件		新処理施設	新最終処分場
社会的特性条件	⑳ 都市計画区域	○	○
	㉑ 農業振興地域		○
	㉒ 文化財等	○	○
	㉓ 埋蔵文化財包蔵地	○	○
	㉔ 重要文化的景観	○	○
	㉕ 巨樹・巨木林	○	○
	㉖ 景観地区・準景観地区	○	○
	○印の条件に該当する全域を除外 ただし、㉖は工業地域、準工業地域及び工業専用地域を除く用途指定区域を除外 ㉑は、農用地区域及び農業用施設用地のみ除外 ㉒、㉓は、影響範囲を半径 100 m として除外		

2 第2次選定

絞り込み条件と比較評価項目により、それぞれ 19 か所の候補地を選定

条 件		新処理施設	新最終処分場
絞り込み条件	① 人口分布	○	○
	② 土地造成の容易性	○	○
	③ 構造物等の有無	○	○
	④ 公共投資エリアの回避	○	
	⑤ 隣接自治体からの距離	○	
	⑥ 学校、病院等からの距離		○
	⑦ 公共施設（国・県）		○
	⑧ 公共施設（市町村）		○
	⑨ 運搬経費の経済性	○	
	⑩ 道路状況		○
	⑪ 農業振興地域整備計画との整合性	○	
	⑫ インフラ整備状況（上水・簡水）		○
絞り込んだ結果		238 か所を選定	687 か所を選定
比較評価項目	① 評価対象地人口	○	○
	② 敷地面積	○	○
	③ 道路状況	○	○
	④ 取付道の有無	○	○
	⑤ 土地の利用状況	○	○
	⑥ インフラ整備状況（上水・簡水）	○	
	⑦ 構造物等の有無	○	○
	⑧ 土地造成の容易性	○	○
	⑨ 土地取得の容易性	○	○
	⑩ 運搬経費の経済性	○	
	⑪ 人口重心からの距離		○
	⑫ 隣接自治体からの距離		○
比較評価した結果		238 か所→19 か所	687 か所→19 か所

3 第3次選定

「評価①」と「評価②（現地調査）」の2段階で評価を行い、それぞれ4か所の候補地を選定

(1)「評価①」 5つの評価項目により採点 → 第2次選定の評価点数に加算 → 現地調査の対象を絞り込み
→ 新処理施設7か所、新最終処分場8か所

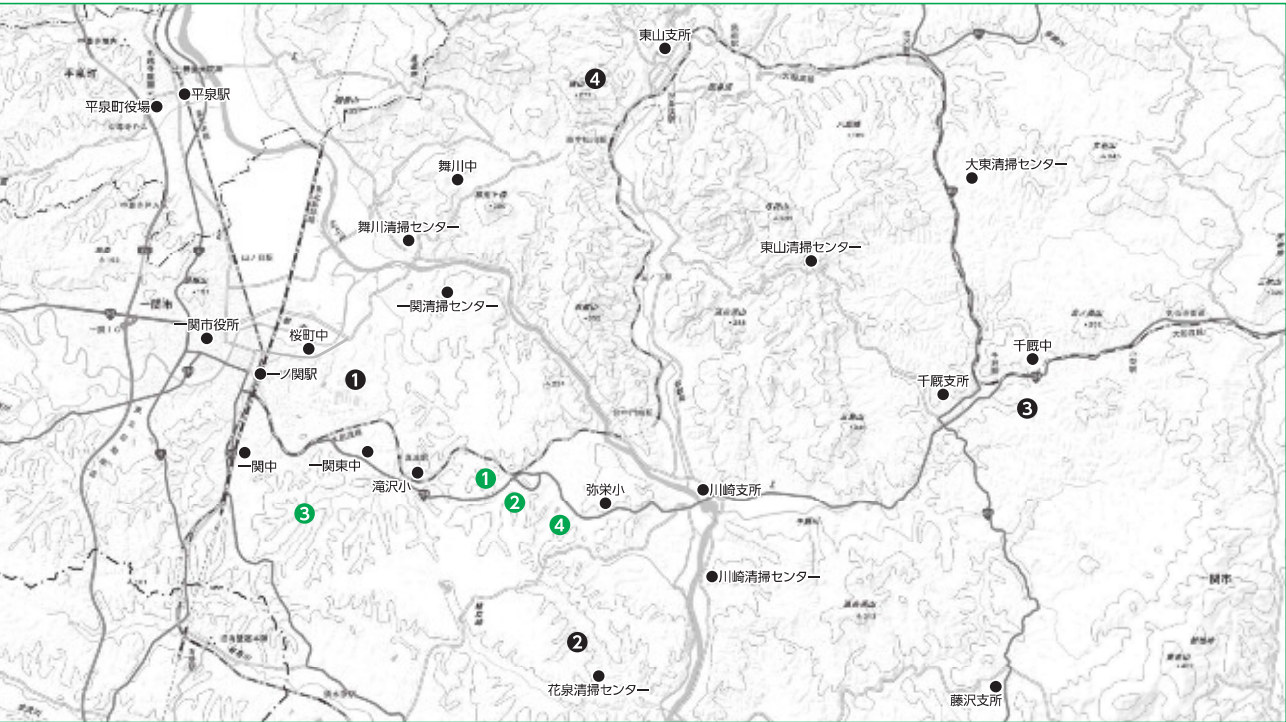
評価項目	新処理施設の評価内容	新最終処分場の評価内容
技術面の評価	地盤・地質の状況	地盤・地質の状況
土地利用面の評価	配置の自由度、必要面積確保の可否、土地利用計画	埋立完了後の土地利用、必要容量確保の可否、土地利用計画
経済面の評価	敷地造成費、取付道路延長、土地の価格、維持管理費	敷地造成費、取付道路延長、浸出水排出管路延長、土地の価格、維持管理費
土地権利面の評価	所有者数、遠隔地在住の所有者数、未相続・筆界未定・共有の土地の有無、地役権・地上権の有無、抵当権等の有無	所有者数、遠隔地在住の所有者数、未相続・筆界未定・共有の土地の有無、地役権・地上権の有無、抵当権等の有無
その他考慮すべき事項	地域における土地利用の現状、売電時の可能性、希少動植物生息域状況、その他	地域における土地利用の現状、放流先河川の状況、希少動植物生息域状況、その他
候補地選定	19か所→7か所	19か所→8か所

(2)「評価②（現地調査）」 3つの評価項目により採点 → 平均点を「評価①」の合計点に加算
→ それぞれ4か所の候補地を選定

評価項目	内 容
自然環境面の評価	施設建設に伴う自然環境への影響を評価
生活環境面の評価	施設建設に伴う生活環境への影響を評価
総合的評価	候補地の総合的な評価

候補地 新処理施設 7か所 → 4か所 新最終処分場 8か所 → 4か所

候補地位置図



国土地理院の電子地形図（タイル）に候補地の位置を追記して掲載

新処理施設の候補地

①	一関市滝沢字石法華ほか
②	一関市滝沢字道目木ほか
③	一関市真柴字堀場ほか
④	一関市弥栄字一ノ沢ほか

新最終処分場の候補地

①	一関市滝沢字駒場ほか
②	一関市花泉町金沢字長沢ほか
③	一関市千厩町千厩字北ノ沢ほか
④	一関市東山町長坂字長平ほか

Ⅳ 検討委員会での検討

施設整備基本方針案と候補地の絞込み方法をまとめ → 項目ごとに利点と課題を整理 → 評価
→ 新処理施設・新最終処分場の建設候補地をそれぞれ1か所に絞込み

1 施設整備基本方針

(1) 新処理施設

① 安定性に優れた安全な施設

- 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

② 環境に配慮した施設

- 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

③ 廃棄物を資源として活用できる施設

- 廃棄物をエネルギー資源やリサイクル資源として活用できる施設

④ 災害に強い施設

- 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

⑤ 経済性に優れた施設

- 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

(2) 新最終処分場

① 安定性に優れた安全な施設

- 信頼性の高い技術や工法を取り入れ、施設の運営及び維持管理において安定性に優れた安全な施設
- 耐久性に優れ、廃棄物を長期間にわたり安定的に処理できる施設

② 環境に配慮した施設

- 環境負荷の低減と施設周辺の生活環境の保全に配慮した施設
- 廃棄物の適正処理や環境保全の啓発・学習にも活用できる施設

③ 災害に強い施設

- 災害時でも稼働し、災害廃棄物を受け入れられる施設

④ 経済性に優れた施設

- 建設から維持管理までの費用対効果の面で経済性に優れた施設

2 候補地の絞り込み方法

- ① 施設整備基本方針の項目ごとに、評価項目を設定して比較評価
- ② 数値化が可能な項目 ⇒ 数値に基づき比較評価〈定量評価〉
- ③ 数値化できない項目 ⇒ 利点と課題を整理して比較評価〈定性評価〉
- ④ 各評価項目の総合評価により、それぞれの候補地を絞り込み

3 候補地の評価（説明会での意見を反映後）

(1) 評価項目

評価対象 基本方針	新処理施設整備候補地	新最終処分場整備候補地
安定性に優れた 安全な施設	受電環境 給水環境 配水管までの距離 亜炭採掘鉱区 配慮を要する構造物 土質	受電環境 給水環境 配水管までの距離 亜炭採掘鉱区 湧水・表流水 土質
環境に配慮した 施設	交通量 交差点位置 取付道路 景観との調和 自然環境への影響 生活環境への影響	交通安全 排水環境 景観との調和 自然環境への影響 生活環境への影響 周辺農地への影響
廃棄物を資源として 活用できる施設	資源の活用先	
災害に強い施設	予測される自然災害の種類 施設建設の阻害要因	予測される自然災害の種類 施設建設の阻害要因
経済性に優れた 施設	造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 運転管理費 収集運搬費	造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 運転管理費 運搬費
その他	総合計画・土地利用計画との整合性 協働による地域づくり 利用者の利便性 想定地権者数 想定筆数 文化財	総合計画・土地利用計画との整合性 協働による地域づくり 利用者の利便性 想定地権者数 想定筆数 工事環境

※**評価項目名** …定量評価の項目 **評価項目名** …定性評価の項目

※**評価項目名** …説明会でいただいた意見を受けて追加・変更した評価項目

評価の見方

課題はグレーで表示

候補地	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか	〇〇字××ほか
評価項目				
受電環境				
給水環境				
配水管までの距離				
この区分において優 位と評価した候補地	○		△	◎

- ◎：最も優位とした候補地
○：2番目に優位とした候補地
△：3番目に優位とした候補地
□：優劣はないと評価した区分

(2) 新処理施設整備候補地の評価

① 安定性に優れた安全な施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
受電環境	優劣はない			
給水環境	優劣はない（いずれも給水区域内）			
配水管までの距離	優劣はない（270 m～640 m、設備の管理上で大きな差はない）			
亜炭採掘鉱区	鉱区外	鉱区内 詳細調査が必要	鉱区内 詳細調査が必要	鉱区外
配慮を要する構造物	J R大船渡線 特別な対策が必要と なる可能性あり	高圧電線 特別な対策が必要と なる可能性あり	構造物は確認されて いない	構造物は確認されて いない
土質	盛土流用に適している	盛土流用するには土 質改良が必要	盛土流用するには土 質改良が必要	盛土流用に支障はない
この区分において優 位と評価した候補地	○		△	◎

② 環境に配慮した施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
交通量	優劣はない（いずれも十分な交通安全対策が必要）			
交差点位置	勾配の急な坂の途 中、かつ見通しが悪 いカーブ付近	勾配の急な坂の途 中、かつ見通しが悪 いカーブ付近	勾配の急な坂の途 中、かつ見通しが悪 いカーブ付近	他の候補地に比較 して勾配が緩やかで、 比較の見通しが良い カーブ付近
取付道路	優劣はない（いずれも急勾配となる）			
景観との調和	優劣はない			
自然環境への影響	新たな土地開発を行う ものであり、ある程度 の環境負荷を伴う	新たな土地開発を行う ものであり、ある程度 の環境負荷を伴う	新たな土地開発を行う ものであり、ある程度 の環境負荷を伴う	既に土取場として使用 されていた部分があり、 他の候補地に比べて 新たな土地開発に伴う 環境負荷が少ない
生活環境への影響	優劣はない（いずれも300 m以内に住宅等があり、騒音などへの対策が必要）			
この区分において優 位と評価した候補地				◎

③ 廃棄物を資源として活用できる施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
資源の活用先	優劣はない			
この区分において優 位と評価した候補地	□	□	□	□

④ 災害に強い施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
予測される自然災害の 種類	優劣はない			
施設建設の阻害要因	優劣はない			
この区分において優 位と評価した候補地	□	□	□	□

⑤ 経済性に優れた施設

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
初期費用 造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 維持費用 運転管理費 収集運搬費	優劣はない 初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で、2.5%の差			
	(合計 360.1 億円)	(合計 361.2 億円)	(合計 352.5 億円)	(合計 359.3 億円)
この区分において優位と評価した候補地	□	□	□	□

⑥ その他

候補地 評価項目	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
総合計画・土地利用計画との整合性	具体的な開発計画などはなかった			
協働による地域づくり	現時点において、候補地間の比較をするには至らなかった			
利用者の利便性	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い	国道や主要地方道からの距離が比較的長く、利便性が低い	国道や主要地方道からの距離が短く、利便性が高い
想定地権者数	優劣はない（8人～28人、用地取得上の支障とはならない）			
想定筆数	優劣はない（29筆～78筆、用地取得上の支障とはならない）			
文化財	文化財は確認されていない	文化財包蔵地が近くにある	文化財は確認されていない	文化財は確認されていない
この区分において優位と評価した候補地	◎	○	○	◎

⑦ 総合評価

候補地 基本方針（評価区分）	滝沢字石法華ほか	滝沢字道目木ほか	真柴字堀場ほか	弥栄字一ノ沢ほか
①安定性に優れた安全な施設	○		△	◎
②環境に配慮した施設				◎
③廃棄物を資源として活用できる施設	□	□	□	□
④災害に強い施設	□	□	□	□
⑤経済性に優れた施設	□	□	□	□
⑥その他	◎	○	○	◎

各区分の評価を総合し、優劣がないと評価した評価区分を除く他の評価区分で最も高い評価を得た「**弥栄字一ノ沢ほか**」が最適であると評価

(3) 新最終処分場整備候補地の評価

① 安定性に優れた安全な施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
受電環境		優劣はない			
給水環境		給水区域内	給水区域内	給水区域内	給水区域外
配水管までの距離		設備の管理上で大きな差はない (60 m)	設備の管理上で大きな差はない (770 m)	設備の管理上で大きな差はない (300 m)	給水区域外
亜炭採掘鉱区		一部鉱区内 詳細調査が必要	鉱区外	鉱区外	鉱区外
湧水・表流水		表流水は主に浸透して湿地となる地形	流水はあるが、建設、維持管理上、支障はない	流水はあるが、建設、維持管理上、支障はない	多量の湧水への対策が必要
土質		高含水比のため、盛土流用には土質改良が必要	高含水比のため、盛土流用には土質改良が必要	盛土流用するのに支障はない	基盤が岩塊のため、盛土流用には適さない
この区分において優位と評価した候補地		△	○	◎	

② 環境に配慮した施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
交通安全		一般的な交通安全対策で対応可能	一般的な交通安全対策で対応可能	一般的な交通安全対策で対応可能	防護柵等の交通安全対策が必要
排水環境		近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されていない	近くの河川に漁業権が設定されている
景観との調和		優劣はない			
自然環境への影響		優劣はない (いずれも新たな土地開発であり、ある程度の環境負荷を伴う)			
生活環境への影響		優劣はない (いずれも 500 m 以内に住宅があり、騒音などへの対策が必要)			
周辺農地への影響		優劣はない (いずれも下流の水田への配慮が必要)			
この区分において優位と評価した候補地		◎	◎	◎	

③ 災害に強い施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
予測される自然災害の種類		優劣はない			
施設建設の阻害要因		優劣はない			
この区分において優位と評価した候補地		□	□	□	□

④ 経済性に優れた施設

評価項目	候補地	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
初期費用 造成費 施設建設費 取付道路整備費 用地取得費 維持費用 運転管理費 運搬費		初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で 5 % 以内 (合計 53.7 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で 5 % 以内 (合計 56.2 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で 5 % 以内 (合計 54.4 億円)	初期費用と維持費用の合計額が、最小値との比較で 20 % を超える (合計 66.1 億円)
この区分において優位と評価した候補地		◎	◎	◎	

⑤ その他

候補地 評価項目	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
総合計画・土地利用計画との整合性	具体的な開発計画などはなかった			
協働による地域づくり	現時点において、候補地間の比較をするには至らなかった			
利用者の利便性	二車線道路からの距離が短く、利便性が高い	二車線道路からの距離が比較的長く、利便性が低い	二車線道路からの距離が短く、利便性が高い	二車線道路からの距離が比較的長く、利便性が低い
想定地権者数	優劣はない（5人～28人、用地取得上の支障とはならない）			
想定筆数	優劣はない（8筆～47筆、用地取得上の支障とはならない）			
工事環境	敷地内で掘削土の搬出や建築資材の仮置場が確保できない	施工上の大きな課題はない	施工上の大きな課題はない	敷地内で掘削土の搬出や建築資材の仮置場が確保できない
この区分において優位と評価した候補地	○	○	◎	

⑥ 総合評価

候補地 基本方針（評価区分）	滝沢字駒場ほか	金沢字長沢ほか	千厩字北ノ沢ほか	長坂字長平ほか
①安定性に優れた安全な施設	△	○	◎	
②環境に配慮した施設	◎	◎	◎	
③災害に強い施設	□	□	□	□
④経済性に優れた施設	◎	◎	◎	
⑤その他	○	○	◎	

各区分の評価を総合し、優劣がないと評価した評価区分を除く他の評価区分で最も高い評価を得た「**千厩字北ノ沢ほか**」が最適であると評価

●過去の組合広報紙「くらしの情報」によるお知らせ状況

2019 年 11 月発行	選定委員会での整備候補地の選考結果（各 4 か所）
2020 年 2 月発行	候補地に関する説明会の開催状況
2020 年 4 月発行	検討委員会での施設整備基本方針案、候補地の絞込み方法案
2020 年 9 月発行	各候補地の建設場所の検討状況
2020 年 11 月発行	候補地の絞込み方法、評価項目、評価状況（途中経過）
2021 年 1 月発行	候補地の評価結果、建設候補地の絞込み結果（1 か所）
2021 年 6 月発行	今後の取組予定

●整備候補地選定委員会の開催状況

年月日	エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備候補地選定委員会	一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会
平成30年3月19日		第1回委員会 ①候補地選定の手順 ②第1次選定の条件
5月23日		第2回委員会 ①整備候補地の条件 ②第1次選定の条件
7月2日		第3回委員会 ①第1次選定の結果 ②第2次選定の条件等
9月12日	第1回委員会 候補地選定の手順	第4回委員会 ①候補地選定手順の見直し ②第1次選定の結果 ③第2次選定の条件等
11月7日	第2回委員会 ①整備候補地の条件 ②第1次選定の条件	
12月17日	第3回委員会 ①第1次選定の結果 ②候補地の情報提供 ③第2次選定の条件等	第5回委員会 ①候補地の情報提供 ②第2次選定の条件等
平成31年3月4日	第4回委員会 第2次選定の条件等	
令和元年5月24日	第5回委員会 ①第2次選定の結果 ②第3次選定の方法	第6回委員会 ①第2次選定の結果 ②第3次選定の方法
7月26日	第6回委員会 第3次選定	第7回委員会 第3次選定
9月4日		第8回委員会 現地調査対象候補地の決定
9月11日	第7回委員会 現地調査対象候補地の決定	
10月15日	第8回委員会 ①第3次選定候補地 ②選定委員会報告書	第9回委員会 ①第3次選定候補地 ②選定委員会報告書
10月18日	最終選考候補地を4か所選考し、管理者に報告書を提出	最終選考候補地を4か所選考し、管理者に報告書を提出
10月23日	管理者・副管理者会議 ○最終選考候補地の選考	各4か所選定

●施設整備検討委員会／住民説明会の開催状況

年月日	施設整備検討委員会／住民説明会
令和元年9月27日	第1回施設整備検討委員会開催
11月6日	第2回施設整備検討委員会 ○最終選考候補地について
12月1日～令和2年1月8日	第1回住民説明会（うち自治会等説明会4か所）（12会場368人参加） ○最終選考候補地の選考について
1月14日	第3回施設整備検討委員会 ○施設整備基本方針 ○候補地の絞り込み方法
2月20日	第4回施設整備検討委員会 ○施設整備基本方針 ○候補地の絞り込み方法
3月25日	第5回施設整備検討委員会 ○施設整備基本方針 ○候補地の絞り込み方法 ○建設場所の検討状況
6月2日	第6回施設整備検討委員会 ○中間処理施設の処理方式 ○最終処分場の施設形式
6月23日	第7回施設整備検討委員会 ○候補地の評価の考え方
7月3日～7月8日	第2回住民説明会（10会場158人参加） ○各候補地の建設場所の検討状況
7月28日	第8回施設整備検討委員会 ○中間処理施設の処理方式 ○最終処分場の施設形式 ○候補地の評価(案)
8月12日	第9回施設整備検討委員会 ○候補地の評価(案)
8月31日	第10回施設整備検討委員会 ○候補地の評価(案)の検討
9月9日	自治会等説明会（千厩まちづくり協議会） ○各候補地の建設場所の検討状況
9月11日～9月16日	第3回住民説明会（10会場149人参加） ○候補地の検討状況
9月30日	第11回施設整備検討委員会 ○候補地の評価(案)の検討
10月16日	第12回施設整備検討委員会 ○候補地の評価(案)の検討
11月6日～11月10日	第4回住民説明会（8会場126人参加） ○候補地の評価(案)
11月27日	管理者・副管理者会議 ○候補地の絞り込みについて 各1か所に絞り込み
12月19日～12月20日	第1回建設候補地周辺自治会説明会 ○候補地の絞り込みの経緯 ○施設の概要
12月21日	第13回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画
令和3年1月27日	第14回施設整備検討委員会 ○事業スケジュール ○施設整備基本計画
2月6日	第1回建設候補地土地所有者説明会 ○候補地の絞り込みの経緯 ○施設の概要
2月9日	第15回施設整備検討委員会 ○事業スケジュール ○施設整備基本計画 ○余熱活用の検討方法
3月13日	第2回建設候補地周辺自治会説明会 ○令和3年度取組予定 ○地元組織
3月24日	第16回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用の検討方法
4月30日	第17回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用ワーキンググループの進め方
5月22日	第2回建設候補地土地所有者説明会 ○今後の進め方について ○地形測量・地質調査について
5月25日	第18回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用ワーキンググループの検討状況
6月26日～6月29日	第5回住民説明会、第3回建設候補地周辺自治会説明会、第1回地区説明会
6月28日	第19回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用ワーキンググループの検討状況
8月3日	第20回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用ワーキンググループの検討状況
9月3日	第21回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用ワーキンググループの検討状況
9月29日	第22回施設整備検討委員会 ○施設整備基本計画 ○余熱活用 ○ごみ処理に関する基本方針

組合では、住民の皆様からいただいたご意見などを踏まえながら、より良い施設となるよう施設整備検討委員会で検討し、事業を進めてまいります。詳しくは、組合ホームページをご覧ください。
今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■問合せ先 一関地区広域行政組合 総務管理課

〒021-8501 一関市竹山町7-2

TEL 21-2111 内線 8751 FAX 31-3224

一関地区広域行政組合ホームページ

URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/kouiki-gyousei/>

